

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスやさしさいっぱい中央		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日		令和7年 3月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日		令和7年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化されないように工夫されている。	毎月行われる職員会議にて職員が意見を出し合って活動プログラムを立案しています。五領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」と関連するようにプログラムを考えると同時に、利用児も楽しんでいただけるように企画しています。	長期休暇前には利用児自身で長期休暇に何をしたいか会議をしてもらいました。自己選択、自己実現ができるような機会を提供できたことで自尊心を育むことにも繋がりました。今後も利用児の意見を取り入れながらプログラムの企画をしていきます。
2	児童のことを十分に理解し、児童と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されている。情報共有のもと、個別支援計画を作成している。	送迎時や保護者面談を通じて利用児や保護者のニーズや課題について分析をしています。保護者面談の際には児童発達支援管理責任者の他、日々の支援にあたっている職員が参加し、事業所での様子や課題について情報を共有しています。また、日々の連絡帳でもご家庭や学校での様子やその他の情報をいただいていますので、ニーズの把握に役立てています。	利用児の詳しい情報や何か変更点が生じた際に情報を得るために、より一層相談支援専門員や他事業所の職員と風通しの良い関係づくりが重要となります。また個別支援計画に沿って質の高い支援を提供するために、職員が支援に関する知識・技術を獲得し続けることが必要となります。
3	定期的に通信やホームページ、SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を児童や保護者に対して発信されている。	月に一度、利用児の様子の報告書を発行しています。また、SNSでも個人情報の取り扱いに注意しながら職員研修や避難訓練等の様子を発信していますので、利用報告書以外からも活動の様子をご覧いただいています。	利用報告書やSNSでは利用児の活動の様子や成長した部分に触れた内容を載せていますが、ペアレント・トレーニングに繋がることも発信できれば保護者にとっても有益な発信となるかもしれません。療育や支援、児童との関わり方について支援者の目線で発信することも検討していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所において、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	ご相談があった場合はすぐに時間を設けて、対応は当たっていますが、事業所発信の家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会等は企画できていません。	児童発達支援管理責任者が中心となって、プログラムの立案が必要になります。立案に当たってはアンケート等によってどのようなテーマで研修会を開いてほしいかニーズを把握することで、ご家庭での課題の解決に繋がります。場合によっては外部講師や子育てを終えた保護者を講師としてお招きすることで子育てへの不安や悩みを解決できるかもしれません。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の児童と活動する機会が少ない。	利用児の中には慣れた環境（場所、人、音、匂い等）での活動を好む児童が少なくありません。自分を理解してくれる仲間や大人との活動を好み、安心して過ごせる環境でないと活動できない児がいることを鑑み、放課後児童クラブや地域の他の児童と触れ合う機会が少なかったです。	児童館や地域の公園に行った際には、他の児童と触れ合う機会がありますので、積極的に触れ合う機会を増やしていきます。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援について改善が必要。	保護者同士の交流機会やきょうだい向けのイベントを提供することは事業所の活動や職員について知っていただく機会にもなるので、より一層信頼関係を築いていくためにも開催を検討していきます。	祝日や長期休暇等の学校休校日を活用して保護者会の開催を検討しています。保護者同士の交流やペアレント・トレーニングの機会とすることで保護者の安心に繋がっていきます。その中で保護者より良い関係を築くことは、利用児の新しい情報を得ることにも繋がりますので、より良い支援計画を作成するためにも保護者会の開催を検討いたします。